



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2009-2010

地区方針 「歴史に学び変革と進歩を」
IMテーマ 「縁づくり」

11月は「ロータリー財団月間」です

CONTENTS

1. ガバナーメッセージ	1~2
2. RI 会長メッセージ	3
3. ガバナー日誌	4~5
4. ロータリー財団月間に寄せて	6
5. ロータリー財団の新しい動き「未来の夢計画」	7
6. ロータリー財団 国際親善奨学金について	8
7. テーマ GSE 派遣と受入れに関するお願い	9~10
8. ロータリアンと財団学友は なが〜いお付き合いを!	11
9. 決算報告	12~19
10. 新入会員紹介	20~21
11. 訃報	22
12. ポールハリスフェロー・米山功労者(9月分)	23
13. 「ロータリーの友」地区だより	24~26
14. ハイライトよねやま	26
15. ロータリー文庫通信	27
16. 「友」インターネット速報	28
17. 出席報告(2009年9月)	29
18. 11月の行事予定	30



RI 会長
ジョン・ケニー
(スコットランド)



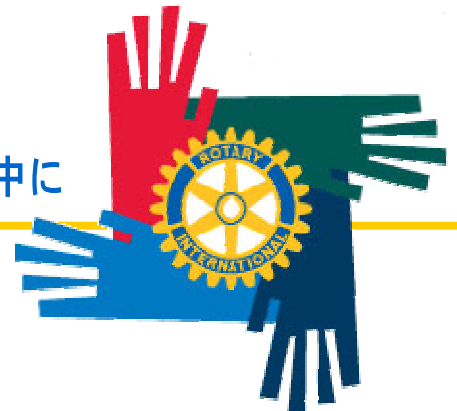
2640 地区ガバナー
村上 有司
(田辺RC)

NO.5
11

ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F
TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643
E-mail: info@rid2640g.org
URL: http://www.rid2640g.org/murakami/



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS



ガバナーメッセージ



ロータリー財団の歴史と現況

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 村上有司

- 1、“ロータリー財団”は、1917年“ロータリー基金”の名前でスタートしました。しかし、その時には、創設者アーチ・クランプの退職慰労金の残余26.50ドルでした。昨年度、世界中のロータリアンから集った寄付金は22,400万ドルであったということですから、隔世の観があります。この内、当地区からは455万ドルが寄付されています。
- 2、国際ロータリーでは、“一人100ドルを”と呼びかけていますが、当地区は、“一人当たり200ドル”をお願いしています。ロータリーの寄付は、ロータリアンの自主的な気持ちにまかせられており、決して強制をしていません。しかし、「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界平和、親善、平和を達成出来るようにする」（国際ロータリー財団決議）ことを実行しようとするならば、ロータリアン一人一人が進んで、少しでも浄財寄付をすることが大切です。それが、ロータリー活動への参加の一つとなるのです。
- 3、“ロータリー財団”への寄付は、（1）年次寄付、（2）恒久基金寄付、（3）特別寄付があります。いずれも、“ロータリー財団”への寄付として、ポール・ハリス賞の対象となります。

“年次寄付”は、使用目的を特定せず、3年後にロータリー活動に使用される寄付です。寄付額の50%がDDF（地区財団活動資金）として3年後に地区に返還され、シェアを通じて、財団プログラムを賄う資金となります。又残り50%はWF（国際財団活動資金）として、人道的プログラム等を賄う資金となります。

“恒久基金寄付”は、2015年迄に10億ドルを積み立てることを目的としており、それ迄はロータリー活動には利用されません。恒久基金寄付に1,000ドルを寄付した人のことを、“ベネファクター”といいます。

特別寄付としては、ポリオ・プラス基金寄付等があります。

4、ロータリー財団は、2013年7月から大幅に制度変更がなされます。“ロータリー財団未来の夢計画”といわれているものです。ロータリー財団は大きな変革もな
いまま進んできたのですが、社会の変化に伴い、不合理が多く出てきました。特に、
財団プログラムの利用が多くなるにつれ、処理と手続のコストが高くなり運営費が
膨大となってきました。そこで、ロータリー財団では、出口部分を（1）新地区補
助金、（2）グローバル補助金の二つに簡素化することにしましたのです。

（1）新地区補助金は、DDFの50%までを一括して地区に支給され、地区はこの補
助金を使って、小規模なプロジェクトを実施出来ることとなります。

（2）グローバル補助金は、次に述べる（a）～（f）の6つの重要項目に関連するプ
ロジェクトを行う場合、WFから15,000ドル～20,000ドルの補助金が
提供されるものです。重要項目としては、「（a）平和と紛争予防／紛争解決、（b）
疾病予防と治療、（c）水と衛生設備、（d）母子の健康、（e）基本的教育と識字
率向上、（f）経済と地域社会の発展」がありますが、今後変更される可能性があ
ります。

グローバル補助金は、更に、（イ）クラブと地区が立案するものと、（ロ）ロータリ
ー財団自体が、他の協力組織の協力を得て立案するもの（パッケージ・グラント）
との二つに分かれます。

（イ）は、クラブ又は地区が、現金又はDDFを出し、それにWFから一定額が上乗せ
されて行われる“中規模のプロジェクト”が対象です。

（ロ）は、パッケージ・グラントといい、WFに協力組織の財政的援助が加わり行われ
る“大規模プロジェクト”です。



親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

劇作家ジョージ・バーナード・ショーは、かつて「想像は創造の始まりである。求めるものを想像し、想像するものを望み、そしてついには望むものを創造する」と書いたことがあります。よりよい未来を想像することができる人々の世界には「欠乏」はありません。しかしロータリーでは、そのような未来を想像するだけではありません。私たちはそれを望み、それを創造するために働くのです。私たちのこのような活動は、私たちの2つに強みを通じて行います。ロータリークラブとロータリー財団です。

ロータリーのプロジェクトは未来志向

私は何年もの間、私たちのロータリー財団の支援を受け、世界中のロータリアンたちによって実施されてきた、優れた活動の成果を目の当たりにする機会に恵まれてきました。印象付けられたのは、これらのプログラムは、それを与える側の人の短期間の満足や報酬にはまったく焦点を当てていないという点です。最高のロータリーのプログラムやプロジェクトは未来志向であり、何世代にもわたる生活の向上を目指しているのです。

ポリオ撲滅を目指す

20年前、私たちロータリアンは、ポリオを撲滅することで、全世界によりよい暮らしを誓いました。それは常に野心的な目標でした。でも、いつも現実的な目標でもありました。そして今、私たちが以前にも増して目標に近づきつつあることに対して、ロータリー財団に感謝します。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団とロータリーの2億ドルのチャレンジの支援により、「私たちがポリオを過去のものにした」といえる日がまもなくやってくるだろうというのが私の望みです。というのは、もし、今私たちが失敗すれば、私たちの前を歩いてきた人々、私たちが約束した子どもたちなど、すべての人々にも落第点を付けることになるからです。もし私たちが失敗すれば、私たち自身の美名だけでなく、私たちより前にロータリアンであった人々の名声をも傷つけるという、危険を冒すことになるからです。

私たちは成功しなければなりません

私たちが失敗することはないでしょう。私たちには成功することが可能であり、成功しなければならぬのです。「ロータリーの未来はあなたの手の中に— The Future of Rotary Is in Your Hands」同様、ロータリー財団の未来も皆さんの手の中にあることを、一人ひとりがご理解してくださっていることを私は知っています。

ガバナー日誌

ガバナー 村 上 有 司

1、IM3組

10月3日、和歌山RCのホストで和歌山県民文化会館小ホールで開かれました。和歌山RCは、当地区で最も歴史の古い伝統クラブであるが、事前会議・本会議共に整理された進行でさすがと感じました。本会議は、今年度地区活動キーワードの「縁づくり」をテーマにして、森寛勝住職（ロータリアン）の「曼荼羅世界と縁づくり」の基調講演でした。前日、高野山RCの公式訪問の際、「曼荼羅はワッカ（輪）である」との尼僧の説明を聞いていたので、たいへん意義深く拝聴しました。ロータリーの「手に手つないで」に相通じるものがあります。

2、地区大会

北海道・東北・山陰等雪の多い地区では、10月は地区大会で目白押しです。どの地区にも出席したい気持はいっぱいですが、開催日が重なったり、自分の地区の周年行事や公式予定のために参加出来ないのは残念です。幾つかの地区大会に出席させてもらったが、趣向をこらして立派なイベントを実施されていました。当地区は来年4月17日・18日の二日間、白浜温泉と田辺市で開催することにしてはいますが、色々と勉強させてもらっています。

3、公式訪問

公式訪問は順調に進み、10月29日現在48クラブが終わりました。台風18号のため、10月8日予定の公式訪問を中止して、後日改めることにしました。

訪問先のクラブでは、熱烈歓迎を受け楽しくかつ有意義な行脚を続けています。今年は各クラブ共に、会員増強に熱心に取り組まれており、例年とは少し違うように感じました。人材は組織の力ですから、クラブの活性化は会員増強からスタートします。本年当初の地区の会員数は2,233人でしたが、来年6月末には2,500人に近づきたいものだと思っています。各クラブにおかれては、「純増3名」の地区目標に、御尽力・御協力をお願いします。

4、G S E

南美知子団長以下5人のG S Eメンバーが、大役を果たして10月23日無事帰って来ました。全員女性でしたが、彼女らの目標であった「凛とした姿勢」で、国際親善を果たしてくれました。

5、青少年交換

2010～2011年度派遣する、青少年交換長期派遣学生選考試験を行い、8名を予定採用者としました。これから1年間、オリエンテーションを重ねることになりますが、落ちこぼれることなく、全員出発の日を向かえてほしいと思います。

6、お祝い

木工作家の松澤政彦会員（富田林R C）が、第22回丹波年輪の里のウッドクラフト展で賞をとられました。今年の月信“手に手つないで”を、人形で表現したとの連絡をいただきました。このコンクールは、「22年の伝統あるもので、業界ではかなりはっきりとした総合企画」ものとのこと。おめでとうございます。



ロータリー財団月間に寄せて



ロータリー財団部門カウンセラー 三軒久義

今月は、ロータリアンがロータリー財団を良く理解し、そのプログラムに参加するため、各クラブが「フォーラム」を開催したり、財団学友に卓話を依頼したりして財団の目標を強調する「ロータリー財団月間」です。クラブは少なくとも1つのプログラムを財団に充てることを要請されています。

ロータリー財団の今年度の目標は、先ず特別プログラムである「ポリオの撲滅」であり、次に 平和と紛争予防、病気の予防と治療、飲料水の確保、識字率の向上など人道的奉仕活動を重点項目に挙げています。私たち日本のロータリアンにとってロータリー財団は「奉仕の理想」を実現するための手段の1つである「国際奉仕」のツール（道具・組織）と考えられるので、財団のプログラムに参加することも大事ですが、今は参加する時間がない方は、財団寄付することだけでも国際奉仕をしていることとなります。ですから寄付金がどのように使われるか、すなわちどんなプログラムがあるのかをよく理解して寄付することが大切です。寄付金の多さを競い合うのは奉仕団体・寄付団体ではないロータリークラブのとるべき道ではありません。

ロータリー財団のプログラムはよく変わります。時代に即応して変化しているのですが、本筋から外れてゆくものもあります。3年後には「未来の夢計画」と称してプログラムがまた大きく変更されます。この「夢計画」の意図するところは判然としませんが、奨学金も含めて6つの重点分野を重視すること、長期のプロジェクトが可能になることなどが上げられますが、地区の裁量が多くなるのか、少なくなるのか、実施してみないと分からないようです。たとえば「GSE」は職業研修チーム(vocational training team)というすっきりした名前になり、年齢制限がなくなるのは良いのですが、交換ではなく、しかも重点分野に限られますので、実行し難くなる心配があります。奨学金も自由度は増えますが、専攻が重点分野に制限されるので希望者があるでしょうか。これらはパイロットスタディの間に是正されるでしょう。ロータリー財団は難しい、複雑だと敬遠されがちですが、わが地区はパイロット地区ではありませんので、今は現行のプログラムをよく理解して頂き、その上で財団寄付を推進して頂きたくお願い申し上げます。

ロータリー財団の新しい動き「未来の夢計画」



ロータリー財団委員長 岩本行弘

ロータリー財団は、1917年の国際大会で「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でより良き事をするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、間もなく100周年を迎えようとしております。この100周年を機に、ロータリー財団では10年構想を練り上げました。それが、2013年から始まる「未来の夢計画」であります。

2010～13年度の3年間は試験期間で、試験期間終了後の2013～14年度から、「未来の夢計画」に基づいた新しい補助金制度に移行することが決まりました。したがって、現行のプログラムは2013年6月をもって、すべて廃止されます。

現在のロータリー財団プログラムは、①教育的プログラム（5種類）、②人道的補助金プログラム（4種類）、③ポリオ・プラス・プログラムから成り立っておりますが、「未来の夢計画」では、新地区補助金とグローバル補助金の2種類です。双方とも①人道的補助金プロジェクト、②奨学金、③職業研究チームの補助金から成り立っております。新地区補助金は、地区財団活動資金（DDF）の50%以内で、残りのDDFをグローバル補助金で計画的に活用することになります。新地区補助金は、決められた範囲で自由に活用することが可能ですが、グローバル補助金は、定められた6つの重点分野、①平和と紛争予防・紛争解決、②疾病予防と治療、③母子の保健、水と衛生設備基礎教育、⑤識字率向上、⑥経済開発と地域開発、に関するプロジェクトに限定されます。グローバル補助金を活用する場合、国際活動資金（WF）の補助金が支給されますが、厳格な審査を受けることとなります。

具体的に国際親善奨学金は今後どのように変わるのかをご説明いたします。現行のプログラムでは、1学年度奨学金しかありませんが、新地区補助金では、国内、海外を問わず、高校、大学、大学院のいずれでも奨学金の支給が可能になります。グローバル補助金では、上記の重点分野を大学院で勉強する場合に限られ、最長4年まで奨学金が支給されます。ただし、奨学金申請時点で大学院の入学許可を受けていることが条件になっております。

このように、財団プログラム・補助金制度は大きく変わりますが、地区が今まで以上に自由に活用できることによって、「私達のロータリー財団」の推進を目指しております。

【ロータリー財団 国際親善奨学金について】



財団奨学金小委員長 初田 隆生

平素よりロータリー財団、また当委員会に対しましてご協力賜り、心より御礼申し上げます。

国際親善奨学金は、ロータリー財団の最初のプログラムとして 1947 年に発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学制度です。志の高い奨学生を海外に送り出し、教育機関で勉学させることによって、草の根的ではありますが、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与し、世界中で良き思いの人々が繋がりを持つことにより、世界平和を実現しようと考えてきました。

当地区でも国際親善奨学生への応募状況は、年々減少の傾向にありますので、募集に関しまして、皆様方のご協力をぜひよろしくお願い申し上げます。

①海外派遣国際親善奨学生について

- (1) 2009-2010 年度 国際親善奨学生の派遣は 9 名です。(応募数は 15 名でした。)
- (2) 2010-2011 年度 国際親善奨学生についてですが、前年度募集までは 1 学年度奨学金、マルチイヤー奨学金、6 ヶ月間・3 ヶ月間文化研修のための奨学金がありましたが、1 学年度のみの募集となり、地区選考試験には 7 名の応募があり 7 名が合格しました。現在、留学に向けてオリエンテーションを実施中です。
- (3) 2011-2012 年度 国際親善奨学生の募集については、『2011-2012 年度 ロータリー財団 国際親善奨学生募集ポスター』を 2010 年 1 月～2 月頃に当地区内各クラブ会員、大学等に配布し、併せて当地区ホームページにより募集を行います。

②海外からの受け入れ国際親善奨学生について

2009-2010 年度 国際親善奨学生の受け入れにつきましては、6 名を予定しています。(韓国 2 名・台湾 2 名・アメリカ・スイス)

※国際親善奨学生の年度の表示は、留学するまたは留学した年度になります。

国際親善奨学生の受け入れにご協力下さいますクラブの皆様には、心から御礼申し上げます。当地区から海外に行かれた奨学生の多くは、留学先でロータリアンはじめ多くの方々にご支援頂き、とても充実した留学経験をされています。可能な限りで結構ですので、国際親善奨学金プログラムの趣旨をご理解賜り、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

テーマ GSE 派遣と受入れに関するお願い



委員長 中川 優（堺東南 RC）

村上有司ガバナーが今年度約束された2009－2010年度 GSE 交換相手地区（RI7150 ニューヨーク地区）と長期にわたる友好を築けるように、当地区 GSE 委員会を中心に、派遣、及び受入れに関する周到な準備を行っています。

1. RI7150 地区への派遣

村上有司ガバナーがサンディエゴから帰国され、早速派遣団長・団員の募集を行い、平成21年3月22日面接、選考の結果、次の通り決定しました。

団長	南 美和子	和歌山東南 RC 所属
団員	吉田 香美	富田林南 RC 推薦
	砂野 優華	田辺 RC 推薦
	間島 章代	海南東 RC 推薦
	大原 麻里	堺東南 RC 推薦

早速、4月より月1回のペースで派遣準備にとりかかり、9月に出発準備が整い、平成21年9月19日（土）には、多くの会員の方々に関西国際空港での団結式、及び、お見送りを戴きました。感謝申し上げます。現在は、米国で研修中でございます。なお、平成21年10月23日（金）関西国際空港15時30分帰国予定です。多くの方々のお出迎え（1階到着ロビー出口に15時集合）をよろしくお願い致します。

2. RI7150 地区よりの GSE 受け入れ予定

今回の受入れのお世話は奇数の IM でお願いすることになります。よろしくお願い致します。なお、宿泊はホームステイが原則となっています。今後、GSE 地区委員とご相談の上、具体化して戴くこととなります。到着後の予定（案）は次の通りです。各 IM で準備の程よろしくお願い致します。

3/28(日)	到着後、ゲートタワー25階において、歓迎会とオリエンテーション 場所:さぬきや、宿泊はゲートタワーホテル
3/29~4/4(日)	IM 7 組でホテル迎えをお願いします。
4/5~4/11(日) 4/12	IM5組 4月11日~13日高野山RCで、ぜひお世話願いたいと考えています。
4/13~4/18(日)	IM1組 4月17日・18日地区大会参加
4/18~4/25(日)	地区大会終了後、IM3組に移動
4/24(土)	さよならパーティーを開催、 ホストファミリーも参加
4/25(日)	関空より帰国
上記以外のIMの方々も、ご協力をよろしくお願いいたします。	

注、到着および帰国は変更になる場合があります。



ロータリアンと財団学友は なが〜いお付き合いを！



ロータリー財団学友小委員会 委員長 高寺 壽

財団学友小委員会は財団学友会を支援・協力するのが主な活動です。財団学友会とは、元財団国際親善奨学生、元G S E（財団研究グループ交換）参加者により構成される組織で、財団国際親善奨学生並びにG S E団員は帰国後自動的に財団学友会会員となります。

財団学友は将来有望な人達であり、ロータリーの良き理解者でもあります。ロータリーにとっても学友にとっても、お互いの関係は大きな財産です。両者の事業交流や奉仕活動を末永く続けていきましょう。また、学友は将来のロータリアン候補でもあります。社会で活躍中の会員として適格な学友に積極的にクラブ入会を勧めましょう。そこで、当委員会からのお願いがあります。

- ①推薦クラブ及びカウンセラーの皆様はお世話した学友との交流を積極的に続けて頂きたい。学友が帰国してからも末永くクラブでの行事や地区大会等に参加を促し、交流を保ちつつ温かく見守って頂きますようお願いいたします。
- ②学友の追跡調査にご協力ください。当地区では現在、約430名の学友（国際親善奨学生約350名・G S E約75名）がいます。しかしながら、現在地区や学友会で連絡がとれる学友は100名程度です。当委員会では、学友の追跡調査をしたいと考えています。クラブ毎に、クラブで推薦された学友のリストをクラブ事務局あてに送付しますので、わかる範囲で調査にご協力をお願いします。
- ③財団月間に、学友をクラブ例会に招聘してください。毎年11月の財団月間には、各クラブより学友の卓話の要請が多数ございます。当委員会としましてもできる限りの斡旋・調整他を行いたいと思いますので、希望されるクラブは早めにお申し出ください。但し、財団月間中は要請が多く、学友の多くは職業人ですので、ご希望に添えないこともございますので、可能であれば他の月にして頂くと幸甚です。

収支決算表

自2008年7月1日 ガバナー 勝野 露観
至2009年6月30日 地区会計 丹羽 哲昭

	収入の部	07-08決算額	08-09予算額	08-09決算額	差額
1	前年度繰越金	41,203,284	-	42,136,908	42,136,908
2	RI 交付金	2,396,943	2,600,000	2,237,207	-362,793
3	地区資金	32,067,750	32,500,000	30,771,000	-1,729,000
4	利子収入	119,859	-	448	448
5	会長エレクト勉強会・PETS・地区協議会剰余金	1,085,936	-	1,024,426	1,024,426
6	雑収入(米山繰越金他)	79,500	-	2,465,166	2,465,166
	合計	76,953,272	35,100,000	78,635,155	43,535,155

支出の部

①	委員会 経費	409,619	420,000	525,008	-105,008
1	諮問委員会	384,314	400,000	525,008	-125,008
2	ガバナー指名委員会	25,305	10,000	-	10,000
3	RI会長賞・意義ある業績賞選考委員会	-	10,000	-	10,000

クラブ主導

②	クラブ奉仕関連	938,283	340,000	211,456	128,544
4	会員増強・退会防止委員会	846,078	85,000	74,580	10,420
5	情報・規定委員長会議	13,230	85,000	53,869	31,131
6	雑誌・広報委員会	-	85,000	-9,577	94,577
7	IT委員会	-	85,000	-	85,000
8	雑誌・広報、IT委員長会議	78,975	-	92,584	-92,584
③	職業奉仕関連	392,960	85,000	288,088	-203,088
9	職業奉仕委員会	392,960	85,000	288,088	-203,088
④	社会奉仕関連	78,328	85,000	122,584	-37,584
10	社会奉仕委員会	78,328	85,000	122,584	-37,584
⑤	新世代関連	4,633,502	4,900,000	4,369,343	530,657
11	青少年・RYLA委員会	1,000,000	1,000,000	1,000,000	-
12	ローター・アクト委員会	1,700,000	1,700,000	1,700,000	-
13	インター・アクト委員会	1,933,502	2,200,000	1,669,343	530,657
⑥	国際奉仕関連	1,623,125	1,085,000	595,691	489,309
14	世界社会奉仕委員会	76,939	85,000	93,076	-8,076
15	青少年交換委員会	1,546,186	1,000,000	502,615	497,385
16	オン・ツウ・バーミンガム委員会	-	-	-	-
⑦	ロータリー財団関連	2,164,762	1,700,000	1,611,469	88,531
17	財団奨学金委員会(・学友)	1,164,762	1,000,000	1,377,009	-377,009
18	財団研究グループ交換等委員会	1,000,000	700,000	234,460	465,540
⑧	米山関連	-	200,000	-	200,000
19	米山記念奨学委員会	-	200,000	-	200,000

地区主導

⑨	会議費	1,049,747	760,000	567,993	192,007
20	IM	-	60,000	-	60,000
21	地区チーム研修セミナー	457,419	200,000	189,480	10,520
22	地区幹事会	114,804	200,000	35,410	164,590
23	ガバナー補佐 会議	266,723	300,000	216,010	83,990
24	会長会議	77,078	-	94,480	-94,480
25	その他 会議費	133,723	-	32,613	-32,613
⑩	ガバナー連絡会議（旅費）	2,315,000	1,950,000	1,797,900	152,100
⑪	各種補助、協力金	2,259,925	2,875,000	3,011,875	-136,875
26	ロータリー文庫協力金	733,950	825,000	470,800	354,200
27	ガバナー会協力金	489,300	550,000	470,200	79,800
28	平和奨学生支援金	36,675	-	35,175	-35,175
29	GE 国際協議会参加補助金	500,000	1,000,000	1,000,000	-
30	GE 国際大会参加補助金	500,000	500,000	800,000	-300,000
31	規定審議会参加補助金	-	-	-	-
32	RIJYEC維持協力金	-	-	235,700	-235,700
⑫	直前ガバナー記念品	240,000	120,000	240,000	-120,000
⑬	ガバナー月信	340,830	1,800,000	409,500	1,390,500
⑭	HP作成費	1,533,000		1,942,500	-1,942,500
⑮	事務職員研修セミナー費	235,959	-	-	-
⑯	ガバナー事務所経費	16,601,324	18,000,000	15,570,993	2,429,007
⑰	事務所経費 予備	-	780,000	-	780,000
⑰	雑費(米山繰越金返金、ジャパンナイト取消料)	-	-	1,031,055	-1,031,055
	総計	34,816,364	35,100,000	31,264,400	3,835,600
	次年度繰越金	42,136,908	-	47,370,755	-47,370,755
	合計	76,953,272	35,100,000	78,635,155	-43,535,155

災害等非常時積立金

収入の部

前年度繰越金	7,978,981	
岩手・宮城内陸地震災害義援金	1,942,986	
拉致支援募金	389,094	
合計	10,311,061	

支出の部

岩手・宮城内陸地震災害義援金	1,942,986	ガバナー会へ
拉致支援募金	378,488	D2560へ
次年度繰越金	7,989,587	
合計	10,311,061	

世界社会奉仕ファンド

収入の部

前年度繰越金	19,443,739	
クラブ拠出金	4,714,000	2357名*2,000
利息	23,439	
合計	24,181,178	

支出の部

クラブへの補助金	4,050,315	
次年度へ繰越金	20,130,863	
合計	24,181,178	

新世代および国際交流ファンド

収入の部

繰越金	-9,292	
クラブより拠出金	7,071,000	
青少年交換旅行代	572,000	東京・広島
合計	7,633,708	

支出の部

青少年短期学生補助金	90,000	
青少年長期学生補助金	3,000,000	
青少年交換旅行代	724,800	大阪・東京・広島
RAC助成金	880,000	
RAC全国研修会費用・海外研修助成金	1,000,000	
IAC助成金	880,000	
IAC海外研修助成金	780,000	
ROTEX関係費用	100,000	
次年度繰越金	178,908	
合計	7,633,708	

ジャパンナイト会計報告

収入の部

前年度繰越金	0	
参加登録料	0	
合計	0	

支出の部

ジャパンナイト宴会場キャンセル料	0	
次年度繰越金	0	
合計	0	

PETS・地区協議会会計報告

収入の部

会長エレクト勉強会・PETS・地区協議会登録料	6,660,000	
合計	6,660,000	

支出の部

PETS費用	771,496	
地区協議会費用	4,864,078	
次年度繰越金(地区資金口座へ)	1,024,426	
合計	6,660,000	

地区誌編纂分担金

収入の部

前年度繰越金	5,508,589	
クラブ負担金	707,100	
合計	6,215,689	

支出の部

次年度繰越金	6,215,689	
合計	6,215,689	

GSE特別分担金

収入の部

前年度繰越金	1,592,728	
クラブ負担金	471,400	
合計	2,064,128	

支出の部

次年度繰越金	2,064,128	
合計	2,064,128	

ライラセミナー

収入の部

前年度繰越金	395,949	
クラブ負担金	2,345,000	2,345名*1,000
地区資金より	1,000,000	
お祝金等	50,000	
合計	3,790,949	

支出の部

事前会議費	94,972	
会場関係費	934,270	
付帯経費	228,603	
プログラム関係	846,440	
中学生の主張支援等	300,000	
DVD作成費	157,500	
次年度繰越金	1,229,164	
合計	3,790,949	

米山梅吉記念館への寄付

収入の部		
前年度繰越金	0	
クラブ拠出金	160,400	
合計	160,400	
支出の部		
米山梅吉記念館への寄付	160,400	
次年度繰越金	0	
合計	160,400	

社会奉仕部門会計(ロータリー100年の森林募金他)

収入の部		
繰越金	442,756	
世界エイズデー	476,850	
識字率向上運動	542,986	
利息	48	
合計	1,462,640	
支出の部		
ロータリー100年の森林募金		和歌山県へ
世界エイズデー	290,165	TV和歌山他へ
識字率向上運動	542,986	ユネスコへ
次年度繰越金	629,489	
合計	1,462,640	

社会奉仕協力金

収入の部		
前年度繰越金	1,389,898	
合計	1,389,898	
支出の部		
次年度繰越金	1,389,898	
合計	1,389,898	

雑誌広報委員会費内訳

収入の部		
広報補助金	960,000	RIより
新聞購読料・冊子費用	1,952,100	
合計	2,912,100	
支出の部		
新聞購読・冊子・ラジオ出演・写真展費用	2,902,525	
残金	9,575	
合計	2,912,100	

地区大会

収入の部		
前年度繰越金	3,255,649	
クラブ負担金	24,350,000	
ゴルフ大会残金	37,968	
本会議登録料	335,000	
晩餐会登録料	4,670,000	
懇親会登録料	2,770,000	
お祝金等	97,968	
合計	35,516,585	
支出の部		
明細は別紙参照	31,365,902	
次年度繰越金	4,150,683	
合計	35,516,585	

地区大会記念ゴルフ大会

収入の部		
登録料	2,090,000	
合計	2,090,000	
支出の部		
大会諸経費	2,052,032	
残金	37,968	地区大会へ
合計	2,090,000	

事務所経費内訳

人件費	6,413,155	
福利厚生費(各種保険)	773,695	
印刷費	1,134,502	
事務用品費及び消耗品費	259,007	
通信費	631,421	
慶弔見舞金	830,500	
新聞図書費	21,267	
振込み手数料	96,212	
事務所借室料	2,220,000	
ガバナー交通費	413,144	
レンタルサーバー費	121,590	
地区大会・年次報告書他	2,656,500	
合計	15,570,993	

別紙の通り、地区会計報告を致します。

2009年10月5日

地区会計監査

南出 正太郎 

地区会計

丹羽 哲昭 

地区代表幹事

桃田 隆彦 

地区大会会計報告書

(収入の部)		
会員賦課金	24,350,000	10,000×2,425人、5,000×20人
本会議 登録料	335,000	10,000×15人、5,000×37人
晩餐会 登録料	4,670,000	20,000×196人、15,000×50人
懇親会 登録料	2,770,000	10,000×277人
祝い金等	97,968	
合計	32,222,968	
(支出の部)		
事務所経費	3,832,243	人件費、事務費 他
登録関係	441,200	参加者名札、リボン等
会場関係		
4月25日関連小委員会会場費(3会場)	78,540	ホテル会場費
会長幹事会・本会議2日間	7,980,157	ホテル会場費
RI会長代理歓迎晩餐会	5,890,920	
本会議昼食会場費・昼食代		
3Fビュッフェ昼食代	5,006,872	
26F来賓昼食代	364,875	
打ち上げ懇親会費用	2,492,465	ホテル会場費、アゼリアバンド
講師代・司会者代	1,042,380	衣笠祥雄氏、津田なおみ氏
RI会長代理ほか来賓費	488,712	交通費、滞在費 他
記念品費	1,116,300	手提げ袋、ポン酢、久保惣美術館ガイド 他
記念記録費	1,554,730	写真代、DVD代
余興・アトラクション費	779,606	琴、太鼓、お茶席、落語、笹踊り、子供文楽
その他企画運営費	296,902	ブルゾン代 他
合計	31,365,902	
当年度収支	857,066	
前年度繰越金	3,255,649	
次年度繰越金	4,112,715	

2009年10月5日

地区大会委員長 松田 光毅

大会幹事 須藤 実

財務委員長 濱田 豊

財務副委員長 山本 成男

監査 南出 正太郎

支出の部 内訳

事務所経費	3,832,243
封筒代	194,250
リーフレット代	544,950
パンフレット代	819,000
事務所賃借料(8ヶ月分)	640,000
パソコン代	113,994
コピー複合機レンタル費	193,013
事務職員人件費	985,813
電話、FAX、ネット通信代	122,339
通信費	46,810
消耗品費	9,900
事務所光熱費	108,950
コピー用紙等事務用品費	35,584
支払手数料	17,640
登録関係費	441,200
名札・リボン購入費	441,200
会場関係費	8,058,697
4月25日関連小委員会会場費	78,540
会長幹事会会場費	539,280
本会議会場費	7,402,447
その他一式	38,430
RI会長代理歓迎晩餐会	5,890,920
RI会長代理歓迎晩餐会費用一式	5,890,920
本会議昼食会場費・昼食代	5,371,747
3Fビュッフェ昼食代	5,006,872
26F来賓昼食代	364,875

打上げ懇親会費	2,492,465
懇親会費	2,212,875
懇親会チケット代	79,590
アゼリアバンド費用	200,000
講師代・司会者代	1,042,380
講師代	892,380
司会者代	150,000
RI会長代理ほか来賓費	488,712
宿泊費	190,000
登録料、晚餐会費	30,000
交通費	5,340
花束代	21,000
ウェルカム、お土産代、ハイヤーなど一式	242,372
記念品費	1,116,300
紙袋代	184,275
久保惣美術館ガイド	60,000
大会土産(ポン酢)	872,025
記念記録費	1,554,730
映像一式	1,155,000
写真代	202,000
DVD, 書籍代	197,730
余興・アトラクション費	779,606
琴 お礼	197,000
いずみ太鼓 お礼	120,000
落語 お礼	23,000
笹踊り お礼	133,000
いずみ子供文楽 お礼	168,500
お茶席 お礼	132,000
色紙・サインボール代	6,106
その他企画運営費	296,902
ブルゾン代	200,000
その他一式	96,902

新入会員紹介

新しい友達が増えました
手に手つないで"友の輪"を！！

9 月



つくだ ひかる
佃 光
所属クラブ：太子RC
職業分類：合成樹脂板販売
生年月日：1945年10月15日



さかもと まさのぶ
坂本 雅信
所属クラブ：御坊南RC
職業分類：建築業
生年月日：1958年7月26日



もちづき ひでき
望月 秀樹
所属クラブ：堺RC
職業分類：料亭
生年月日：1952年12月23日



まつむら たかお
松村 孝夫
所属クラブ：堺RC
職業分類：電力供給
生年月日：1955年4月4日



きた ゆきひろ
北 裕喜彦
所属クラブ：白浜RC
職業分類：建築
生年月日：1962年3月17日



かわい ちょうべい
河合 長兵衛
所属クラブ：泉大津RC
職業分類：整形外科医
生年月日：1933年8月9日



たじみ あき
但見 あき
所属クラブ：美原RC
職業分類：貿易
生年月日：1975年9月24日



なかで ひろあき
中出 博啓
所属クラブ：美原RC
職業分類：販売（浄水器）
生年月日：1960年2月2日



いとう けんいちろう
伊藤 憲一郎
所属クラブ：富田林RC
職業分類：調剤薬局
生年月日：1964年4月17日



なかの とみお
仲野 富雄
所属クラブ：堺東RC
職業分類：食品販売
生年月日：1962年3月16日



みなみ えいさく
南 栄作
所属クラブ：田辺RC
職業分類：遊技場
生年月日：1976年9月8日



たなか しげゆき
田中 重之
所属クラブ：和歌山北RC
職業分類：テント・シート製造
生年月日：1935年8月14日



やまだ さちこ
山田 さち子
所属クラブ：和歌山東南RC
職業分類：美容室
生年月日：1949年2月12日



かとう まさゆき
加藤 雅之
所属クラブ：和歌山RC
職業分類：住宅販売
生年月日：1956年12月23日

ロータリークラブへの入会

ロータリーは、世界中の事業および専門職業人のリーダーが集まる国際的組織です。人道的な奉仕活動を行いながら、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励しています。

ロータリーへ ようこそ！新会員となった皆さんには、ロータリークラブと国際ロータリーを通じて、クラブ、地元地域、さらには世界中の人々と交流する機会が提供されています。

経験豊かなロータリアンは、参加こそが鍵であると口を揃えて言っています。関心のある分野の委員会に参加したり、例会の挨拶係を引き受けたり、奉仕プロジェクトのチームに加わるなど、積極的にボランティアとして参加してください。こうした活動に参加すればするほど、クラブの仲間との親睦が深まり、ロータリーについて深く理解できるようになるでしょう。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



くし ひろお
串 博夫様 (田辺RC)

2009年9月26日死去

在籍期間：39年6ヶ月

職業分類：循環器科医

ポールハリスフェロー：

マルチプルポールハリスフェロー

米山功労者：米山功労者3回

生年月日：1928年1月7日



さの ひろゆき
佐野 弘幸様 (堺北RC)

2009年9月9日死去

在籍期間：26年

職業分類：IT事業

ポールハリスフェロー：

マルチプルP. H. F (2)

米山功労者：第4回米山功労賞

生年月日：1945年7月25日



こまつ きよあき
小松 聖啓様 (富田林南RC)

2009年9月11日死去

在籍期間：15年

職業分類：漢方薬製造

ポールハリスフェロー：

マルチプルポールハリスフェロー①

米山功労者：米山功労者①

生年月日：1950年9月30日



Paul Harris Fellow

PHF・ベネファクター（9月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
なし					



米山功労者（9月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
西本 儀正	1	松原	中山 恒夫	2	和歌山東
忠岡 清	10	堺南	今西 利之	3	和歌山南



第5回「ロータリーの友」地区だより(11月号)



紅葉真っ盛りの季節となり、皆様旅行に各種イベントにお忙しい事と存じます。11月はロータリー財団月間です。財団月間にふさわしい数々の記事が掲載されていますので御一読下さい。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- RI会長メッセージ----- 1頁
ロータリーは20年前からポリオを撲滅するという野心的な目標に取り組んでいます。ジョン・ケニーRI会長はこのプロジェクトの成功を期して強い決意を述べておられます。
- ポリオ撲滅を修士論文のテーマに----- 6～7頁
ロータリー財団国際親善奨学生としてスコットランドのエディンバラに渡った倉内菜穂子さんが、修士論文の研究調査でニジュールに赴き「ポリオ撲滅」の取組をレポートしたものです。日本の若い女性のエネルギーには感心させられます。
- ロータリーの新しい息吹・大阪ネクストロータリークラブ----- 8～9頁
ロータリー財団学友を中心とした若いクラブとして紹介されています。
ロータリーの精神を受け継ぎながらも新しい視点でのロータリーを作りあげようという意欲がよく表われています。
- ささやかな善意----- 10～15頁
あまりお金をかけずに世界を変える8つの方法が掲載されています。HIVテスト・蚊帳・白内障手術・集中言語能力増長等々、様々な取組が紹介されています。
- 世界でよいことをするために----- 17頁
ロータリーカードによる買い物は金額の0.3%がロータリー財団に寄付されます。
さらにゴールドカードでは年会費の内3000円が財団に寄付されます。ロータリーカードへの御加入を！！
- ロータリーを通して夢をかなえる----- 20～21頁
ロータリアンになったインターアクター石渡宏衛氏（横浜鶴見北RC）が、2590地区のインターアクト委員長としての活躍を報告し、次の世代への期待を強く滲ませています。
- 未来に向けて「ごきげんよう」----- 22頁
桜の聖母学院IACと福島21RCの合同例会をレポートしてあります。生徒たちの成長の様子を著しています。
- エバンストン便り----- 32頁
2011～12年度RI会長ノミニーにインド・バピRCのカルヤン・バネルジー氏が選出された事が掲載されています。
- グローバル・アウトルック 水と衛生に目を向ける----- 37～44頁
世界の人々がいかにきれいな水を求めて苦勞しているか、そしてトイレを使える人が少ない事、深刻な問題です。ロータリーとしての取り組みを紹介しています。さらに42頁からは水の専門家にこの問題について意見を聞いています。適切な管理と教育が大事である事を感じます。

☆ 縦組

○子どもに学ぶ----- 2～6 頁

子どもが成長して行く上で、自分たちで考え体験する事が大切である事をフキノトウ学習等を通じて説いています。

日本の子ども達は基礎は出来ても、応用力・活用力が不足していると云われます。体験学習の大切さがよく解ります。

○卓話の泉 航空管制官 -----12 頁

航空管制の任務についてはあまり知られていませんが、この重要な任務を解説した興味あるお話でした。

○俳壇----- 14・15 頁

「乾きたる七夕竹の軽さかな」 大阪・堺フェニックス 米田 眞理子

来年の七夕は米田ガバナー年度です。御健闘を祈ります。

「帰省子の爆睡といふ眠りかな」 和歌山・田辺東 谷峯 恭子

何回目かの入選おめでとうございます。流石です。

「年ごとに増える家族や墓洗う」 和歌山 島村 安彦

「束の間の晴天飛び交ふ夏燕」 和歌山南 岡崎 瑛子

○柳壇----- 14・15 頁

「ジムまでへ車で通いランニング」 大阪・泉佐野 赤井 聡宏

現代の世相ですが健康維持の為、頑張りましょう。

「着信は夫のみだ^{つま}だけで夜が来る」 大阪・堺 清水 亜稀未

「先手打ち相手の脳に探り入れ」 和歌山・新宮 塩崎 公治

○友愛の広場----- 19 頁

・私の愛するロータリー 堺東 竹山 時和

先日ガバナー公式訪問に同行して私も当クラブを訪れました。当クラブのしっとりとした雰囲気になつかしく思います。

・ガブリエラとの再開 浦和 岩淵 均

・伝統と格式のクラブ 飯田南 古川 善行

海外でのロータリーメンバーとの感動的な出会いが綴られています。村上ガバナーの提唱される“縁づくり”にふさわしい話題でした。

○ロータリー・アット・ワーク - ROTARY AT WORK - ----- 22～32 頁

有田川クリーン作戦 有田RC ----- 24 頁

紙飛行機に夢を乗せて 堺南RC ----- 29 頁

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮(田辺RC)

E-mail: hiromoto1026@ybb.ne.jp

TEL: 0739-22-0571 FAX: 0739-26-7307

ROTARY
JAPAN
Home Page 
www.rotary.or.jp

ロータリーの友 創刊号 (1953 年 1 月号)

1952 年 7 月、日本のロータリーが 2 地区に分割されました。

分割後も、お互いのことを知っていたいという思いがあり、両地区に共通の雑誌の発行が決まりました。創刊号は横組みでした。

ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

TEL 03-3436-6651 FAX 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ハイライトよねやま 116号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



今月のトピックス

2009年10月13日発行

1. 寄付金速報 — 10月は米山月間 —
2. GETSで米山記念奨学事業を紹介
3. 第2800地区で学友会設立 — 全地区に学友会がそろろう —
4. 台湾学友会による日本人対象奨学金がいよいよスタート
5. 10月は米山月間です！

■『ロータリーの友』“よねやまだより”で特集記事を掲載

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、5ページにわたって学友の寄稿、現在の活躍などの記事を掲載しています。地区別寄付額などのデータも掲載していますので、ぜひご一読ください。

(『ロータリーの友』10月号横組みp17～21)

■ご利用いただける米山の資料

- * 豆辞典：これを読めば米山奨学事業がひと通りわかる小冊子。全クラブに会員数分送付済みです。説明用のパワーポイントは、当会HPからダウンロードできます。
 - * 新DVD「心つないで、世界へ」(15分)：元奨学生の活躍に焦点を当てた作品。中国学友会設立総会も収められています。無料。※当会HPにて視聴可
 - * ポスター(2枚組)：離れた場所からの視認性を考え昨年よりもサイズを拡大。B1サイズ(タテ約1m×ヨコ約73cm)の2枚組です。無料。
 - * バナー：地区大会などの大きな会場に映えるバナー。吊して使用するタイプです。サイズはタテ1m80cm×ヨコ1m20cmの3枚組です。貸し出し無料。
- 資料はこのほかにもございます。10月の米山月間以外にも、ぜひご利用ください！



「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行しているロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。

文庫通信 (266号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- ◎ ロボットと共生する未来 古田貴之 D.2790 2009 6P
- ◎ 違うから面白い、違わないから素晴らしい 宮本亜門 D.2670 2009 12P
- ◎ 日本に喝を入れる 上坂冬子 D.2580 2009 2P
- ◎ 日本の進路 小泉純一郎 D.2760 [2009] 10P
- ◎ 琵琶湖は地球環境への小さな窓 嘉田由紀子 D.2650 2009 6P
- ◎ 歴史に根ざしたまちづくり 森谷尅久 D.2650 2009 12P
- ◎ アフリカの子どもたち 田沼武能 D.2820 2009 8P

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



世界で子どもの死亡率が改善

2009年10月20日 NO.402

ユニセフは9月の報告書の中で、抗マラリア剤による対策と健康習慣の改善により、世界各地で子どもの死亡率が下がっていると発表しました。2008年に死亡した5歳未満の子どもの数は推定880万人、1990年の1,250万人と比較すると死亡率が28%低下。これは子どもの死亡数の記録を取り始めた1960年以来、最も低い数字です。死亡率低下の大部分は予防接種、ビタミンA剤の補給、エイズウイルスの母子感染の予防、抗マラリア加工の施された蚊帳などの保健対策によるもの、と報告されています。

国際ロータリー(RI)のデータベースによると、2008年に実施された世界社会奉仕の保健プロジェクトの半分以上が、子どもの死亡率の低下に焦点を当てたものであり、そのことを強調事項として掲げた、前年度の李東建RI会長は「この(ユニセフによる)新たな数字は、ロータリーが実施している活動の重要性を裏付けるものです」とコメントしています。

オーストラリアのクラブがラジオでロータリーを紹介

2009年10月27日 NO.403

オーストラリア・ビクトリア州のカンタベリーロータリークラブ(RC)では、2006年からラジオ番組「Rotary and Community Service (ロータリーと社会奉仕)」を始めました。音楽を交えた2時間にわたるトークショーで、毎週、奉仕プロジェクトの紹介やどのように人々の生活を改善しているか、また一般の人々がどうやって活動に参加できるかを話題にロータリアンにインタビューを行っています。

今年度カンタベリーRCの会長に就任するまで、ブルーマーさんは1人でインタビュアー役をこなしていました。現在は同じクラブの会員、ローターアクターも加わり、交替で月に1回ずつ番組を担当しています。

熱心に奉仕に打ち込むロータリアンやロータリー家族の人々と話ができるのが醍醐味、とブルーマーさんは話します。8月には日本からの国際親善奨学生も出演したとのこと。

ゲストに余裕をもって準備してもらい、よいインタビューができるよう、各放送には十分前もって準備をして原稿を作り、トピックの予定も早くから組んでおきます。おもしろい番組を作る秘訣は、ゲストにオープンエンドの質問をすること、そして聞き手にとって魅力的な選曲をすることだそうです。全文はRIウェブサ

イトからご覧いただけます。

http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/091012_news_radioshow.aspx



2008年8月、ラジオ番組「Rotary and Community Service」の収録を終えたブルーマーさんと日本からの国際親善奨学生エンドウ・チナツさん。写真提供: Brian Bloomer

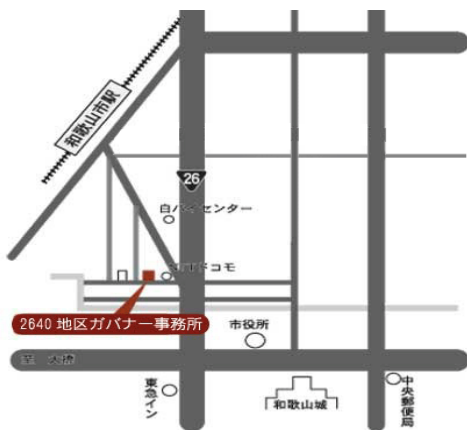
第2640地区 出席報告 (2009年9月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	9月出席率	平均出席率
	08.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計					08.7.1	9月末	9月	累計	9月	累計			
有田	37	37	0	0	0	0	3	86.11	88.70	大阪金剛	31	31	0	0	0	0	4	90.30	89.20
有田南	30	30	0	0	0	0	4	96.16	97.22	大阪狭山	5	5	0	0	0	0	4	90.00	90.00
有田2000	14	14	0	0	0	0	4	89.29	89.61	りんくう泉佐野	27	27	0	0	0	0	4	77.46	77.16
藤井寺しゅら	15	15	0	0	0	0	4	100.0	96.90	堺	77	79	2	2	0	0	4	90.04	87.41
御坊	52	52	0	0	0	0	4	85.47	87.06	堺東	33	34	1	1	0	0	4	98.89	97.58
御坊東	18	18	0	0	0	0	4	90.28	84.41	堺北西南西	19	19	0	0	0	0	5	86.64	73.63
御坊南	26	27	1	1	0	0	4	84.00	87.49	堺泉ヶ丘	21	21	0	0	0	0	4	90.48	94.37
羽曳野	26	25	0	1	0	2	4	86.74	81.49	堺北	31	31	0	1	1	1	4	82.93	83.25
羽衣	22	22	0	0	0	0	4	88.63	87.87	堺南	28	29	0	1	0	0	3	85.33	87.00
阪南	13	13	0	0	0	0	4	100.0	100.0	堺中	25	25	0	0	0	0	4	67.71	68.75
橋本	50	51	0	1	0	0	3	91.30	92.55	堺西	17	19	0	2	0	0	4	90.63	88.68
橋本紀ノ川	17	17	0	0	0	0	4	82.35	85.59	堺おおいずみ	31	31	0	0	0	0	4	87.90	87.87
岩出	27	28	0	1	0	0	4	91.07	93.29	堺フェニクス	25	27	0	2	0	0	4	83.34	80.35
和泉	37	37	0	0	0	0	4	78.85	75.49	堺清陵	20	20	0	0	0	0	4	90.00	87.22
和泉南	31	31	0	0	0	0	4	52.42	59.56	堺東南	12	12	0	0	0	0	4	100.0	100.0
泉大津	47	49	1	2	0	0	4	78.41	80.40	泉南	18	19	0	1	0	0	4	83.82	84.06
泉佐野	30	31	0	2	1	1	3	95.06	95.70	新宮	59	59	0	1	0	1	4	83.05	84.39
海南	42	42	0	0	0	0	3	71.43	74.32	白浜	12	14	1	2	0	0	4	100.0	97.87
海南東	64	67	0	3	0	0	3	86.87	82.42	忠岡	12	11	0	0	0	1	3	43.33	46.87
海南西	22	22	0	0	0	0	4	86.81	87.52	太子	11	12	1	1	0	0	3	77.60	79.30
貝塚	17	16	0	0	1	1	4	100.0	100.0	高石	26	27	0	1	0	0	4	75.00	77.06
貝塚コスモス	20	20	0	0	0	0	4	90.83	90.08	高師浜	18	19	0	1	0	0	4	83.82	87.41
関西国際空港	23	25	0	2	0	0	4	76.00	76.15	田辺	85	86	1	2	1	1	3	88.34	88.04
河内長野	30	32	0	2	0	0	4	85.40	84.80	田辺はまゆう	30	34	0	4	0	0	4	90.40	91.55
河内長野東	30	30	0	0	0	0	4	92.39	90.04	田辺東	48	49	0	1	0	0	4	92.71	96.20
岸和田	44	42	0	0	0	2	3	89.94	87.38	富田林	32	33	1	1	0	0	4	74.58	79.86
岸和田東	54	54	0	0	0	0	3	92.36	92.07	富田林南	20	19	0	0	1	1	4	72.37	71.26
岸和田北	22	21	0	0	1	1	4	100.0	100.0	和歌山	66	71	1	5	0	0	4	89.71	84.03
岸和田南	19	21	0	2	0	0	4	80.48	90.72	和歌山アゼリア	43	44	0	1	0	0	3	79.54	82.31
粉河	19	19	0	0	0	0	4	98.61	95.60	和歌山東	53	52	0	1	1	2	4	91.06	93.69
高野山	23	23	0	0	0	0	4	98.75	98.03	和歌山城南	39	39	0	0	0	0	4	88.24	92.16
串本	11	11	0	0	0	0	4	79.53	73.55	和歌山北	45	52	1	7	0	0	4	82.64	81.06
松原	35	36	0	1	0	0	4	83.70	82.97	和歌山南	89	88	0	1	2	2	3	92.18	87.52
松原中	24	23	0	0	0	1	4	83.70	86.05	和歌山中	29	29	0	0	0	0	4	80.95	81.69
美原	24	26	2	2	0	0	4	93.90	91.80	和歌山西	21	21	0	0	0	0	4	95.00	95.00
那智勝浦	19	20	0	1	0	0	4	57.90	67.62	和歌山東南	41	46	1	5	0	0	4	90.91	91.45

クラブ	7月1日クラブ会員数				9月末クラブ会員数				9月平均出席率	入会		退会	
	男性	2100	女性	133	男性	2141	女性	140		9月	累計	9月	累計
72	2233				2281				85.99	14	65	9	17

11月の行事予定表(ロータリー財団月間)

1日	(日)		
2日	(月)		
3日	(火)	第2回財団奨学生オリエンテーション	和歌山JAビル
4日	(水)	公式訪問:新宮RC(昼)	
5日	(木)	公式訪問:那智勝浦・串本RC(昼)	
6日	(金)		
7日	(土)	IM7組(ホスト:和泉南RC)	ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
8日	(日)		
9日	(月)		
10日	(火)	公式訪問:貝塚RC(昼)、橋本紀ノ川RC(夜)	
11日	(水)		
12日	(木)	公式訪問:大阪狭山RC(昼)、堺清陵RC(夜)	
13日	(金)	公式訪問:美原RC(昼)	
14日	(土)	IM1組(ホスト:白浜RC) 2010~11年度青少年交換長期受け入れ学生対象の東京見学会(14-15日)	コガノイペイホテル 東京
15日	(日)	↓ インターアクト国際交流親睦会(ホスト:初芝富田林高校) 次年度ガバナー補佐・PETS研修リーダー会議	ホテル第一塚
16日	(月)		
17日	(火)	ロータリー研究会	グランパシフィックメリディアン
18日	(水)	↓	↓
19日	(木)	↓	↓
20日	(金)	↓	↓
21日	(土)	IM4組(ホスト:粉河RC) 第2回ライラキーマン会議	粉河ふるさとセンター 田辺
22日	(日)	インターアクト海外研修オリエンテーション(ホスト:清教学園)	
23日	(月)		
24日	(火)	公式訪問:岸和田北RC(昼)	
25日	(水)	公式訪問:岸和田RC(昼)	
26日	(木)	公式訪問:富田林・富田林南RC(昼)、藤井寺しゅらRC(夜)	
27日	(金)	公式訪問:河内長野RC(昼)	
28日	(土)	IM6組(ホスト:りんくう泉佐野RC)	全日空ゲートタワーホテル
29日	(日)	次年度ガバナー補佐・PETS研修リーダー会議	ホテル第一塚
30日	(月)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23

サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-mail info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/murakami/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)